

# 金沢自然公園・釜利谷市民の森 ゾーニング計画 (将来像)

NPO 法人 かなざわ森沢山の会  
起案；企画担当 NOKO  
編集；広報担当 MARU

## 1. ゾーニング計画の背景

本文参照。

## 2. ゾーニング計画の目指す方向

本文参照。

## 3. 以下ゾーン別に記述します

### ➤ 大塚沢孟宗竹林 (下の道具小屋前・横浜市市有林)

竹林は下の 2 段にとどめる。本数は現在の 3 割程度に減らす。

道具小屋側の斜面の竹は皆伐する。上の畑跡地に竹を侵入させない。

4 月 孟宗竹間伐・筋刈り、6 月、7 月 カラムシ草刈り、8 月、12 月、

### ➤ 金杉谷真竹林 (金杉谷とコアラバス道路の間)

皆伐しても良いと思う。公園側で少し竹を残したいのならば、公園側幅 10m 程度を明るい竹林にする。

3 月 真竹間伐・林床及び雑木整理、4 月、  
8 月、9 月、

### ➤ 自然公園真竹林 (コアラバス停前斜面、散策路沿いの竹林) (右図参照)

コアラバス停留所から見上げた斜面は皆伐する。花木植栽又は花畑化などは、公園側に任せるほうが良い。昼食をとる平坦な場所は、草丈の低い平地のままにして残す。

展望台付近の散策路沿竹林は皆伐する。

谷になっている部分は、竹を少し残しても良いし、常緑・落葉混合林にしても良い。

7 月 若竹刈り、11 月、1 月、

### ➤ なんだろう坂孟宗竹林

散策路から見て左右の幅を現在の半分程度に減らす。竹林は竹の本数を減らし、明るい健全な竹林にする。

2 月孟宗竹林間伐整備、4 月筋・若竹刈り、5 月、6 月竹林整備、7 月、10 月、  
11 月植栽林間伐・除伐



➤ **夏山真竹林** (バス道路と北谷口に行く道の間)

東側 (ビニールハウスの正面) は、皆伐→常緑・落葉混合林にする。あえて植林せず、自生植物を残して増やす方法をとる。

2月真竹間伐、3月、4月、5月、7月竹林整備、10月、

➤ **動物園真竹林** (クロサイの裏側)

動物園の指示に従うが、伐採の印のつけ方に疑問がある。印をつけてある竹の近くに、より危険又はより古い竹がある時は、印を差し替える。常緑樹などは、動物のエサになるので、邪魔・危険と判断した場合も、公園側に相談する必要がある。

5月孟宗竹林整備、10月孟宗竹林整備

➤ **大塚沢畑跡地** (大塚沢竹林の上方)

我々の管理フィールドに草地がほとんどないので、明るい草地として残したい。

現在の梅林は形を整え、花・果実がつくように剪定する。(蕾を呼ぶには、5~6月に枝先を詰めると良い) 冬場には、込み入った枝を切り落

とす事を主体に剪定する。本来は里山にあってはおかしい園芸種の「スイセン」。これは、個人的には全滅させたいが、元々の地主さん達の思いなどもあるし、そもそも梅が植栽品なので迷っている。スイセンは芽が動きだす前、11月末までに草刈りを済ませると、管理に手間が減ると思われる。昆虫・小動物の逃げ場になるように、ススキ(切り株も可)や低木のヤブを数か所残したい。それから、畑作地跡部分に、常緑高木は侵入させたくない。

6月畑地跡草刈り、8月、12月畑地跡草刈り・梅林剪定、

➤ **しだの谷**

外来種を排除する。木道沿いを車椅子の方の通行に支障が無いように整理する。斜面の大きな樹木や、つる植物を整理する。平地部分は、大きくなりすぎた植物を除伐する、あるいは剪定する。可能ならば、かつてのような湿地にしたいが、かなり難しいと思われる。

1月木道周辺草刈り整備、3月、6月アオキ・ヤツデ・シロダモなど除伐、

● しだの谷からの階段を上って右側、南斜面側

横浜市内でも減りつつある植物や金沢区内でも少ない植物が残っているので注意を要する。

低木の自生種；ヤマツツジ、ウグイスカグラ、ガマズミ、コバノガマズミ、ゴンズイ、マユミ、コマユミ、コウヤボウキ、オニシバリなど。

草本では；オケラ、ヤマラッキョウ、ヤマユリ、シラヤマギク、ニオイタチツボスミレ、センボンヤリ(少ない)など。

(下図参照)



草本は管理の時期を冬季にすれば、あえて保護策をこうじないでも維持できる。低木は、冬季に葉を落とすものが多いので、枯れ木と間違えて伐採しすぎることには注意を要する。(多少ならば伐採しても大丈夫と思う。又、株を小さくする事はかまわない) コナラ、クヌギ、サクラなどは、薪炭林と同じような管理をして、大きく育ちすぎないようにする。伐った翌春には複数の芽を出すので、「もやわけ」を忘れないようにしないと、全てを枯らす事になりかねないので注意を要する。アオキ、ヤツデ、シロダモなどは、積極的に除伐して構わない。

1 月谷上コナラ間伐、2 月、7 月アオキ・ヤツデ・シロダモなど除伐、

### ● しだの谷からの階段を上って左側、北斜面側

南側が明るく手入れできたら、北側にも日がさすようになるので管理作業を開始する。タブ、スダジイ、アラカシ、シラカシ、ヤブニッケイなどの常緑樹も残し、落葉樹が点在する常緑樹主体の林にする。

土が浅いので大木になりすぎないように株立ちの整理、丈つめなど行う。

### ➤ **どんぐりと昆虫の森** (木道内側)

三箇所エリアに分け、それぞれの中にコナラ・クヌギなどが 5~10 本程度残るようにし、直径 20 cm 程度まで育てるようにする。

間伐はエリア別に年度を代えて実施し、常に「ホダギ」に適した幹が育つようになることを目標にする。例：A は 5 年間、B は 6~10 年、C は 11~15 年、そして A が 16~20 年という繰り返し。順次利用して行き、年齢差による木の様子が観察できるようにする。なお、伐り倒す場合は、株立ちになったあとの事を予想し、なるべく低い位置に伐ることにする (高いところから幹が複数分かれていると、木の安定が悪くなる)。薪炭材にならない他の中低木(ムラサキシキブ、ゴンズイ、マユミ他)は邪魔にならない範囲で、元気に育てる。



順次利用して行き、年齢差による木の様子が観察できるようにする。なお、伐り倒す場合は、株立ちになったあとの事を予想し、なるべく低い位置に伐ることにする (高いところから幹が複数分かれていると、木の安定が悪くなる)。薪炭材にならない他の中低木(ムラサキシキブ、ゴンズイ、マユミ他)は邪魔にならない範囲で、元気に育てる。亜高木、低木、その下の草本という立体構造の森に仕立てたい。

8 月中低木伐採整理、2 月間伐、

### ➤ **どんぐりと昆虫の森** (椎橋池付近)

(下図参照)

植栽品だが池にはアサザ、ヒルムシロ、など減りつつある植物を植えてあるのでとりあえず保護する意味で、可能ならば丈の高いガマの仲間などは排除した

い。(長い鎌で切れる範囲で良い)

池手前周辺部は、チゴザサ(イネ科)、ミソハギ、などの群落が残っているのでこのままの草地として残す

(冬場の草刈りで可能) 池

左手のアズマネザサは皆伐する。池奥、周辺の斜面などは適当に間引きをし、木が倒れないように、つるが茂りすぎないように手入れをする程度が良い。木道内側、池周辺で切り取った材は、細かくして積んでおいても堆肥になるのが遅いので、手間はかかるが池の手前にかつて竹の塀があった



場所に、粗朶柵を作ってはどうだろうか。年々、新しい材で補強できると思う。

8 月 椎橋池周辺草刈り・中低木伐採整理

➤ **F K W さんの山**

1 月 間伐・林床整理・草刈り

➤ **I H J M さんの山**

現在は荒れ方がひどいので、倒木・欠頂木などの整理、アオキ・シロダモの除伐、シュロ退治を続けるしかない。

カントウカンアオイなどの山野草が多産する、金沢区内では数少ない場所なので、貴重な森である。メンバーはこれらの植物を、できるだけ覚えて欲しい。

9 月、1 月間伐・林床整理・草刈り、2 月イベント用ヒノキ間伐、12 月、

➤ **浅間塚南斜面横浜市市有林 (含 ; A O K さんの山)**

当分の間、スギの欠頂木や倒木の処理で手一杯であるが、ゆくゆくはスギの間伐を実施して、明るい人工林に戻してゆきたい。

11 月杉林間伐、1 月杉林間伐・除伐・倒木整理・真竹林整理、3 月、

➤ **北谷緑地**

9 月カラムシ等除伐草刈り、5 月下草刈り・アオキ・シュロ除伐、3 月、

➤ **七曲下谷**

4 月

➤ **その他**

今後の課題として、順次検討してゆきたい。

以上